



産業施策にかかる調査概要

2 種類のアンケート調査を実施

① 犬山市産業振興補助金の利用者を対象としたアンケート

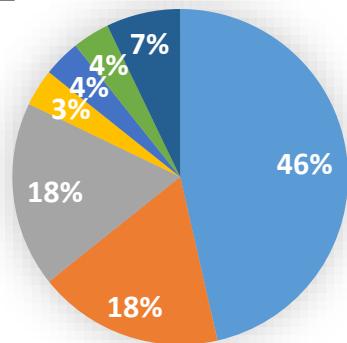
- ・調査目的：①産業振興補助金の効果検証を行うため
②事業者の課題や求められる支援を聞き取るため
- ・調査対象：平成30年度から令和6年度までに制度を利用した33社
- ・調査方法：アンケート用紙送付による調査
- ・実施期間：令和6年12月2日送付
- ・回答率：33社中28社（約85%）

② 補助制度の利用者以外にも幅広く市内事業者へのアンケート

- ・調査目的：①市の支援策を知ってもらっているか確認するため
②事業者の課題や求められる支援を聞き取るため
- ・調査対象：犬山市内の事業者
- ・調査方法：犬山市広報・犬山HP・商工会議所だよりに二次元コードを掲載
- ・実施期間：令和6年12月2日から令和6年12月20日
- ・回答者数：23社

① 産業振興補助金利用者向けアンケート結果 ～産業振興補助金について～

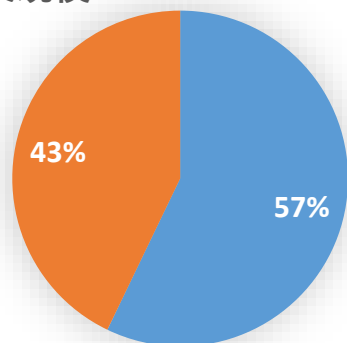
① 業種



製造業	13社
小売業	5社
建設業	5社
農業	1社
サービス業	1社
運送業	1社
卸売業	2社

・利用者のうち展示会出展事業の利用が多いため、製造業が約半数を占める結果となった

② 事業規模

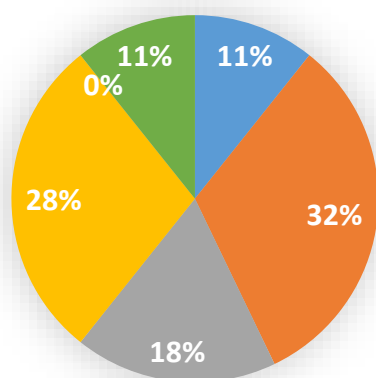


中小企業者	16社
小規模企業者	12社

・雇用促進事業(常用雇用の促進)は小規模企業者限定であり、小規模企業者の多くはこの事業の利用であった



③犬山市産業振興補助金を知ったきっかけは？



市が作成したチラシ	3件
犬山市広報	9件
犬山市ホームページ	5件
商工会議所からの紹介	8件
知人からの紹介	0件
その他(研修先の紹介・顧問税理士の紹介)	3件

・今年度から毎月広報への掲載をしている成果で、今年度新規申し込みの多くは広報を見ての申し込みであった

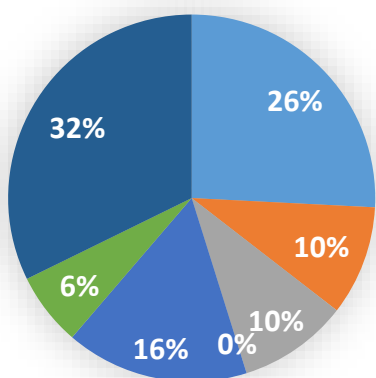
・商工会議所は直接的な企業とのつながりを活用したPRをしてもらえた

・昨年度作成したチラシについては効果が薄かったため、もう少し配置場所や配布機会を検討する必要があると感じた

・研修所からの紹介も効果が見込まれるので、そちらにもチラシの設置など広報活動に協力を依頼したい

④補助金の利用に対してどのようなハードルがありましたか？

(複数回答可)



準備する書類の数が多	8件
申請書類の記入欄が多	3件
書類の準備が難しい	3件
制度が分かりにくい	0件
補助金額が少ない	5件
その他(窓口での提出が必要である)	2件
ハードルは無かった	10件

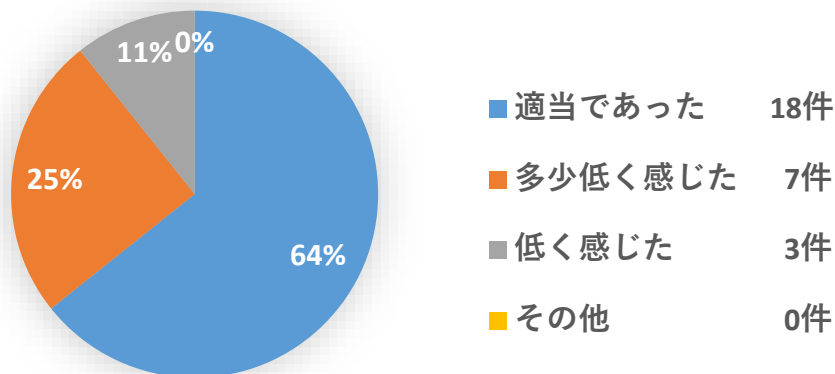
・準備書類の多さについて意見があったため、提出書類が最小限になるよう精査する

・ハードルを感じていない事業者が最多であった

・(回答者へ個別案内) 窓口での提出については現在は求めているため、メールや郵送での提出が可能であることを案内した



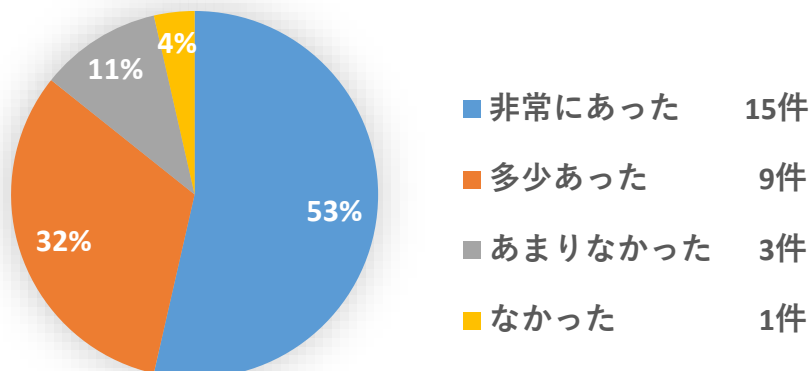
⑤補助申請にかかる手間に比べて補助金額は適当でしょうか？



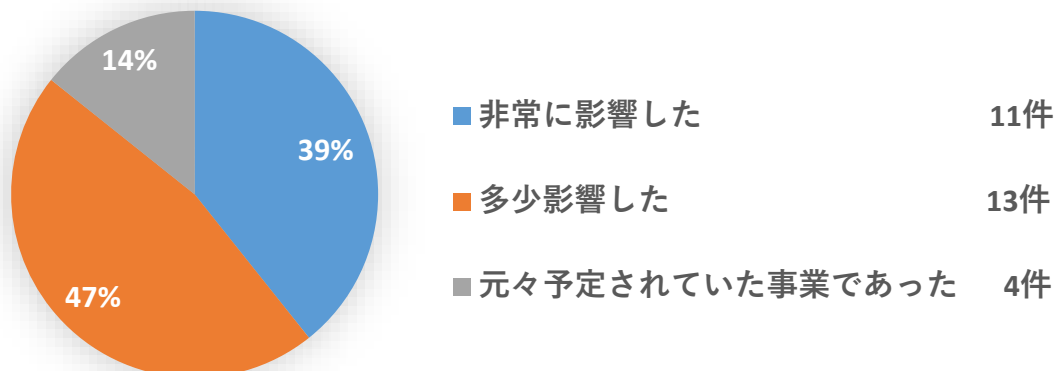
・3分の2の利用者は適当であったという回答であった

・犬山市の補助金ガイドライン上、補助率を2分の1以上に設定はできない

⑥実施した事業の効果はありましたか？



⑦事業の実施にあたり、どの程度補助金が影響しましたか？



・高い割合で事業効果を感じてもらうことができ、補助金も影響したという結果であった

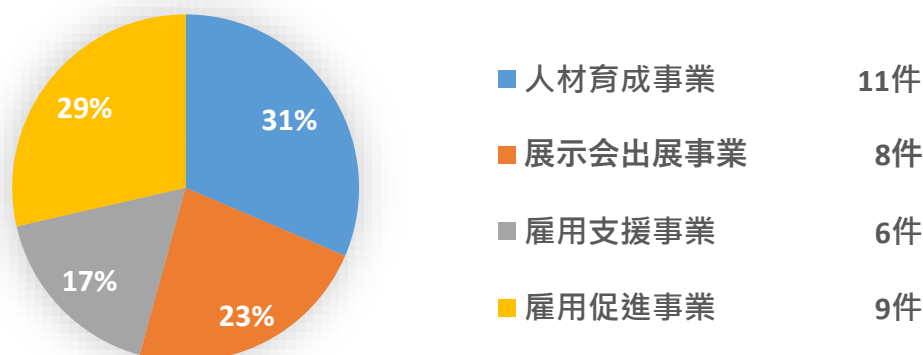
・事業効果にマイナス意見が出ていた件については、就職説明会や就職情報サイトでは雇用に関がらなかったということでの回答だった

・雇用促進では1年間の雇用に対する補助となるため、元々予定されていた事業という回答がされた



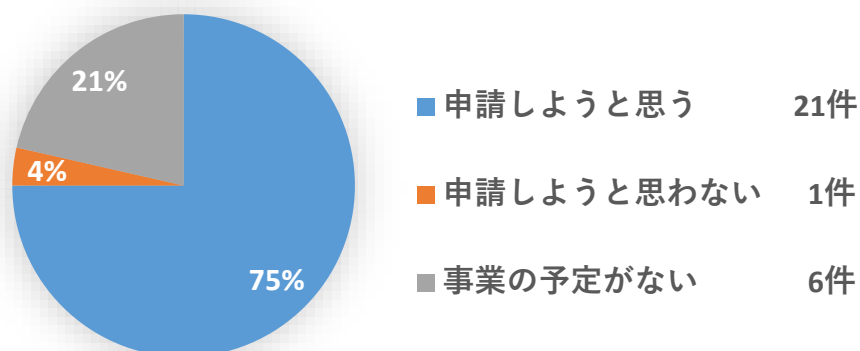
⑧どの事業に対して補助金を強化するとよいと思いますか？

(複数回答可)

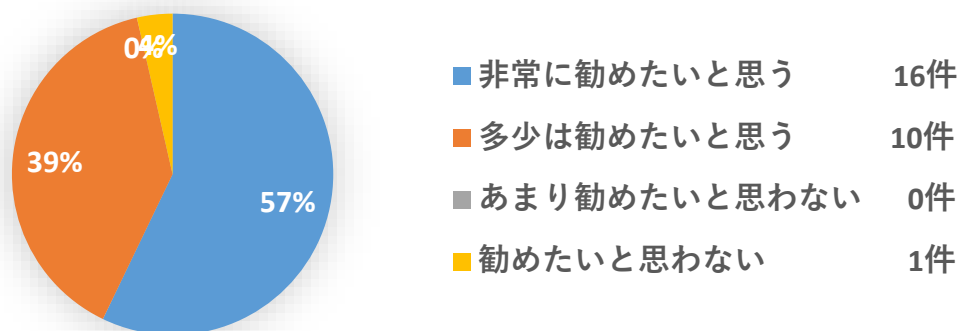


・今後強化すべき事業は、どの事業もまんべんなく回答がされる結果となった

⑨同一事業を実施した場合、来年度も産業振興補助金を申請しようと思いますか？



⑩この制度を他の事業者にも勧めたいと思いますか？



・制度を知っている事業者は引き続き利用したい意向が多数であった

産業振興補助金について 考察

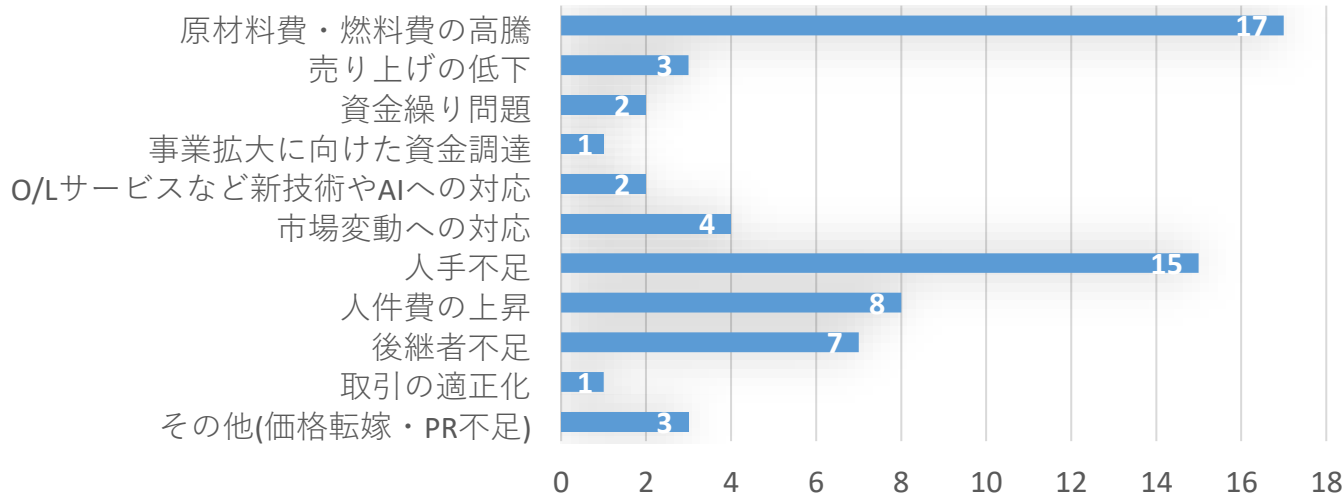
- ・利用者からはおおむね良い意見をいただく結果となった
- ・特に大きな変更が必要だと思われる点や、事業の軽重を付けるべき点などは現状では無いという結果となった
- ・金額面については一定の意見があったので、どこに力を入れるか等、引き続き検討していく必要がある



① 産業振興補助金利用者向けアンケート結果 ～事業課題等について～

⑪現在、どのようなことに課題を感じていますか？

(3つまで回答してください)

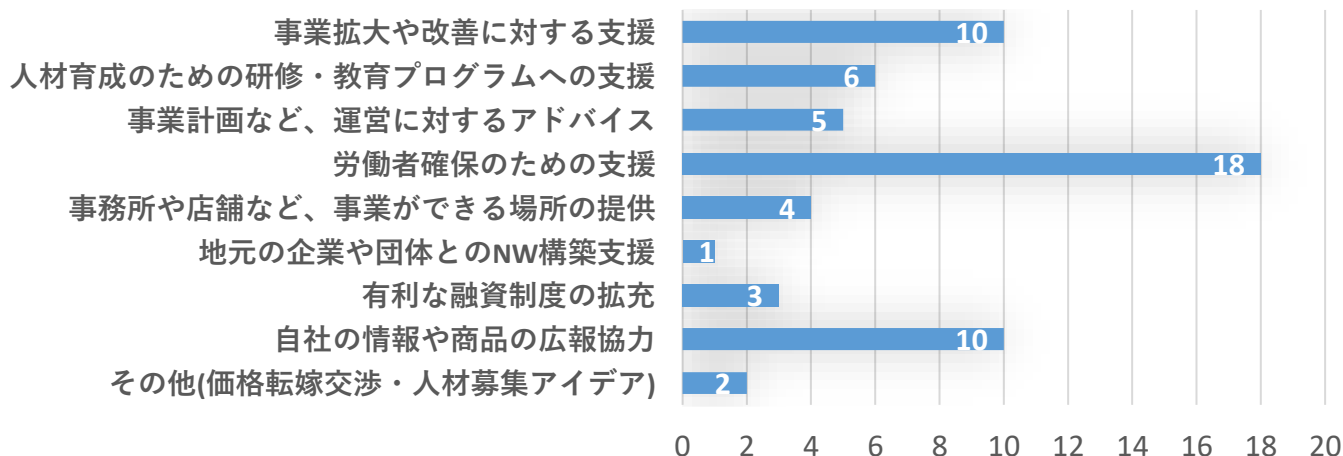


・原材料費・燃料費の高騰を最も課題に感じており、次いで人手不足や人件費の高騰、後継者不足などの人的リソースについて課題に感じている事業者が多かった

・産業振興補助金の利用者は中小企業が多く、昔からある企業も多いが、オンラインサービスなど新技術やAIへの対応は課題として挙げられなかった

⑫行政からの支援として どのようなものがあると良いと思いますか？

(3つまで回答してください)



・支援として最も求められているのは、人的リソース確保に関する支援であった

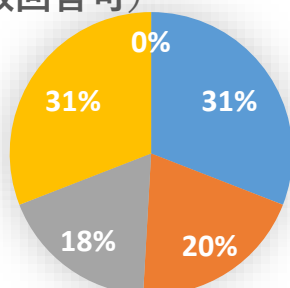
・事業拡大に関する支援としては、事業継続支援補助金が該当するので、こちらも積極的にPRしていく必要がある

・広報協力は具体的にどのようなものがあるのか、他市事例を研究したり、実際にどのようなものをイメージしているのか、企業から聞き取る必要がある



⑬事業者への支援の周知方法として何が適していますか？

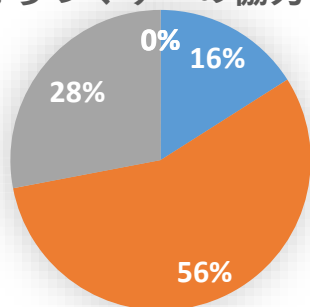
(複数回答可)



■ 犬山市広報	17件
■ 犬山市ホームページ	11件
■ LINE等のSNS活用	10件
■ 商工会議所からの周知	17件
■ その他	0件

・広報や、商工会議所など、現在も実施しているPR方法が、一定数の支持を集める結果となった

⑭まちづくりへの協力や貢献についてどのように考えますか？



■ 既に協力・貢献している	4件
■ 積極的に協力・貢献したい	14件
■ 状況によっては協力・貢献したい	7件
■ あまり協力・貢献したくない	0件
■ 協力・貢献したくない	0件
■ その他	0件

・アンケートに回答をしていただいた事業者については、市への協力や貢献には特に積極的な企業が多かった

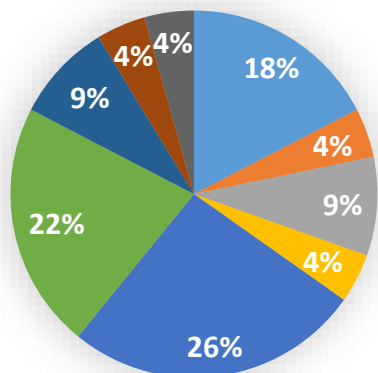
⑮自由記入欄（提出された意見全てを記載）

- ・市は観光業への力を多く入れているが、他業種へのサポートをもっと手厚くしてほしい。
- また、そういった要望を話したり聞いたりする機会を増やしてほしい
- ・現在、自社でもSNSを使用したPRをしているが、城下町の若い世代に興味を持ってもらえるような広報をしていきたい。
- 各店舗のアピールポイントを短い時間でも集約して見てもらえるようなものが作られるとありがたい。
- ・労働者の確保が難しいと感じる。
- 事業がより行いやすくなるよう整備する際に補助があると嬉しい。
- ・人材確保に力を貸してほしい。
- 若い人がどの職業にも魅力を感じる働き方、生き方を上手に宣伝して人を集めて欲しいです。
- ・この補助金の予算がなくなり使えなかったのも、全ての人が使えるように予算を準備してほしい
- ・市長がすべてのリーダーですので、会議所・観光協会などの取りまとめをお願いします。
- ・観光地としての知名度を活かし、頓挫した「道の駅」構想を実現させ、地域産業の活性化を推進してほしい
- ・こういった補助金が増えるとありがたいです。犬山市の中小企業が参加し、交流を深めることができる機会があれば嬉しいと思います。



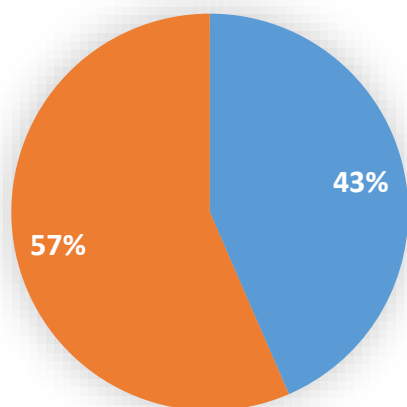
② 産業振興補助金未利用者向けアンケート結果

①業種



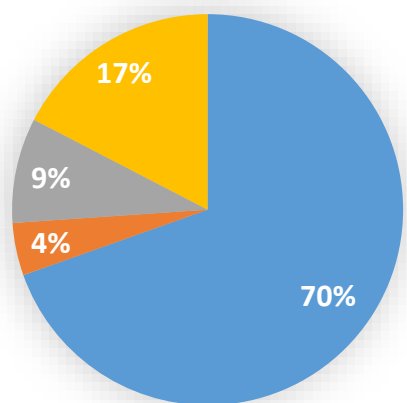
製造業	4件	小売業	1件
建設業	2件	農業・林業	1件
サービス業	6件	飲食業	5件
運送業	2件	公務	1件
教育業	1件		

②事業規模



中小企業者	10社
小規模企業者	13社

③市内事業所のある場所はどこですか？



犬山地区	16件
城東地区	5件
羽黒地区	3件
楽田地区	4件

・未利用者向けのアンケートでは、飲食業やサービス業の業種からの回答が多かった

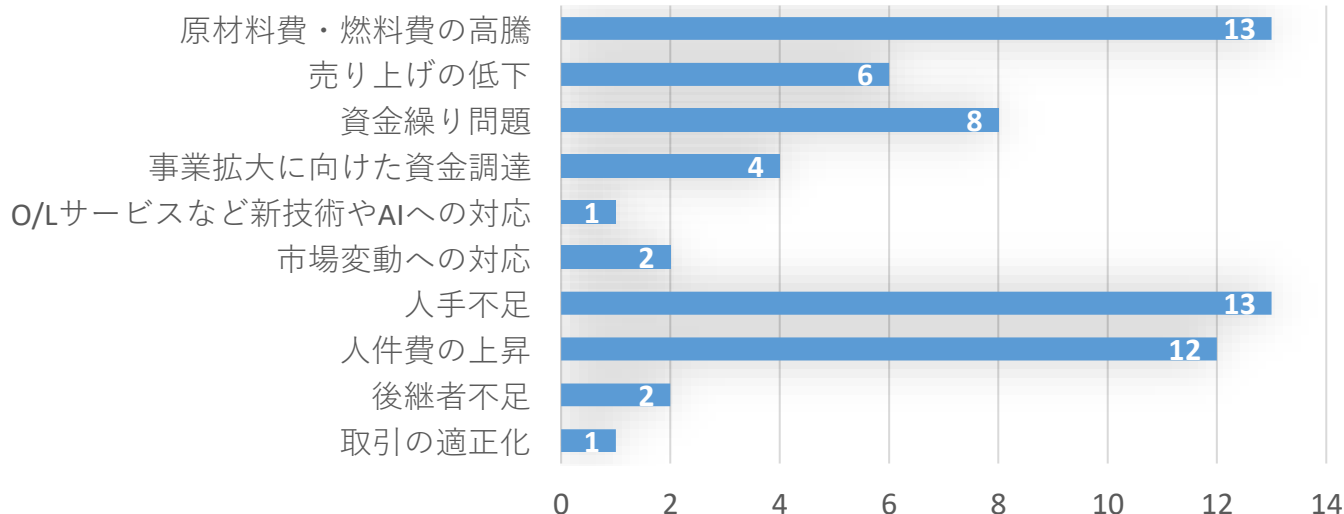
・web回答のみの受付とした影響か、小規模企業者からの回答が多かった

・犬山地区の回答が多く、業種からも、城下町の店舗からの回答であったと推測される結果であった



④現在、どのようなことに課題を感じていますか？

(3つまで回答してください)



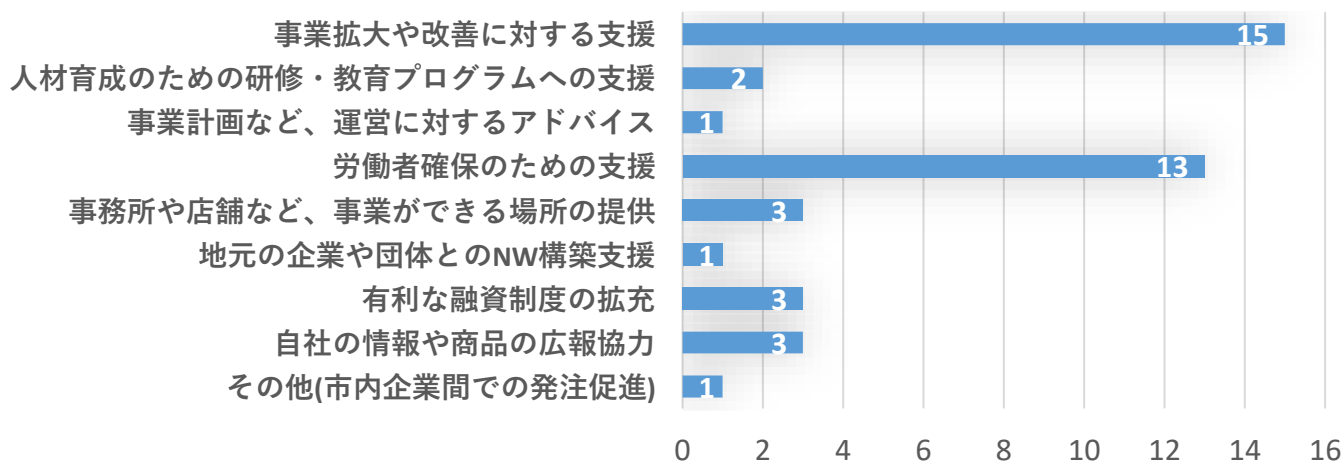
・利用者向けのアンケートと同様に、原材料費・燃料費の高騰や人的リソースについて課題を感じている事業者が多かった

・ただし、後継者不足と感じている事業者は少なく、これもweb回答のみの受付とした影響により、若い世代の事業者が多かったことからこういった結果になったと予想される

・小規模事業者多い影響か、資金繰りに課題を感じている事業者も多かった

⑤行政支援としてどのようなものがあると良いと思いますか？

(3つまで回答してください)



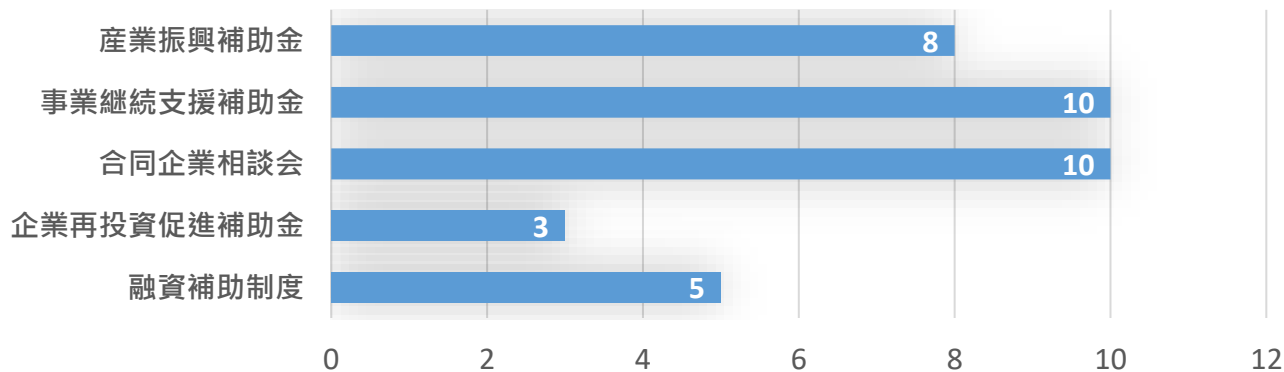
・求められてる行政支援も利用者と同様なものが多かった

・事業拡大に関しては、事業継続支援補助金の利用ができる事業者へは情報の提供が必要である

・広報協力については、若い世代は自ら発信する手段があるためか、行政に支援を求める割合は少なかった



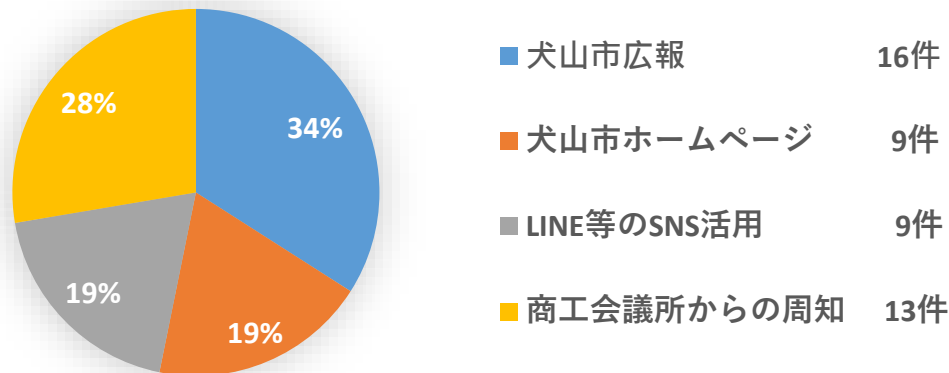
⑥犬山市の産業支援のうち知っているものはありますか？



・アンケートに回答された事業者でも、半数以上が各補助制度を知らないという結果だった

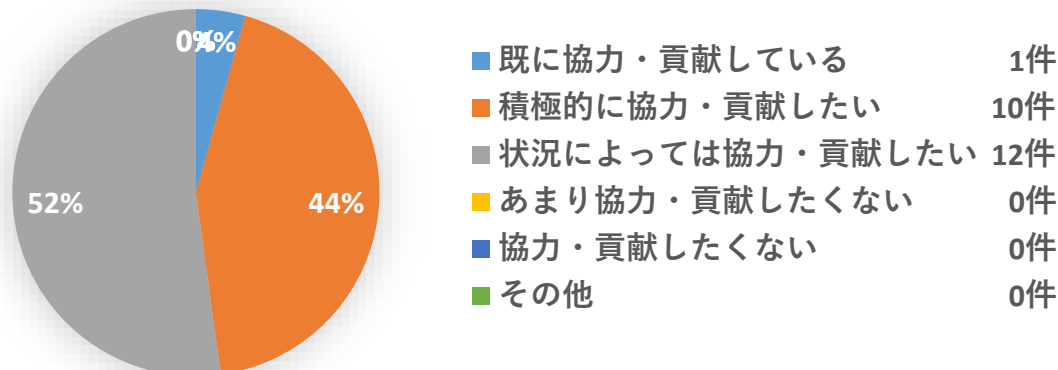
⑦事業者への支援の周知方法として何が適していますか？

(複数回答可)



・web回答した世代でも、周知方法としてSNSの活用はそれほど求められていない結果であった

⑧まちづくりへの協力や貢献についてどのように考えますか？



・補助金利用者と同様に、市へ協力的な意見を得られた